

330-A地区第1回キャビネット会議「議事録」

【2007年8月2日(木) 東京プリンスホテル・プロビデンスホール】

I. 開会

大内キャビネット幹事より330-A地区2007～2008年度第1回キャビネット会議の開会宣言が行なわれた。

II. 出席者の紹介

河島賢一副幹事より本日出席の地区役員、複合地区役員の紹介が行なわれた。引き続き大内幹事よりキャビネット構成員81名のうち、欠席構成員1名、出席構成員80名であり、構成員の過半数以上の出席者により第1回キャビネット会議が成立したことが報告された。

III-1. 地区ガバナー挨拶

飯田善彦地区ガバナーより挨拶があった。

III-2. 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶

森山勇前地区ガバナーより挨拶があった。

III-3. 副地区ガバナー挨拶

石井征二副地区ガバナーより挨拶があった。

IV. 配布資料の説明

近藤正彦副幹事より配布資料、及びガバナー贈呈ピン・バッジの説明があった。

V-1. 第1回キャビネット会議・議長の選出

第1回キャビネット会議の議長は、国際会則付則第6条・第5項(a)に地区ガバナーが議長職務を行うと明記されていること及び複合地区会則第16条に基づき飯田善彦ガバナーが主宰する事の説明があり、飯田ガバナーが議長に就任した。

V-2. ガバナー基本方針の発表

第1回キャビネット会議につき、飯田ガバナーより本年度基本方針14項目の内主要な8項目、特に運営委員会の設置、アクティビティーブックの作成、及びCSFⅡの推進については10月8日、12月9日の献血とあわせた街頭募金活動の具体的な説明がなされ、本キャビネット会議の決議により施行される旨了承された。

VI. 議事録署名人の指名

飯田ガバナーより、議事録署名人に第7Rリジョン・チェアパーソン L向徹男、第2R第2Zゾーン・チェアパーソン L妹尾裕夫が指名された。

VII. 前期各種ピンの贈呈

飯田ガバナーより2006～2007年度ライオンズクエスト委員長ピンが関口委員長欠席のため今期の橋薫委員長に贈呈された。

続いて、前期野崎キャビネット幹事、赤尾キャビネット会計にパストピンが贈呈された。

VIII. 報告事項

一般事項に関しては大内キャビネット幹事より、会計に関しては太田キャビネット会計より報告することが飯田ガバナーより報告された。

A. 330-A地区全般に関する事項

1、3以降については大内幹事から、2については太田会計から報告がなされた。

1. 各種行事に関する事項

- (1) 料集P1～P7の国際会長に関する説明がなされた。
- (2) 料集P8のライオンズの現勢について説明がなされた。
- (3) 資料集P9～P10のOSEALフォーラム、A地区年次大会等主要行事日程につき説明がなされた。
- (4) 資料集P11～P17に基づきガバナー公式訪問、チャーターナイト・周年行事、クラブの名称変更、及びリジョン・ゾーンの再編成について説明がなされた。

2. 会計に関する事項

- (1) 本年度キャビネット発足より現在まで会計処理の説明がなされた。
- (2) 8月のドルレートにつき1ドル119円であることが説明された。
- (3) P13の取扱銀行につき説明がなされた。
- (4) 国際会費、複合地区会費、地区会費、および地区大会費の説明がなされた。各クラブには、クラブ会費3,000円/クラブ、地区会費490円/人の請求書を送付される旨説明がなされた。

3. クラブ会長優秀賞（国際協会指定のアワード）について

- (1) 在3クラブより申請がなされており、受賞したクラブの幹事には100%幹事アワードが授与される旨説明された。

4. 新潟県中越沖地震災害に対する対応

大内幹事より災害発生2日後に緊急対策委員会が開催されたこと、それに先立って被災状況と援助方法が被災自治体および被災地複合地区と協議されたこと、および次の関係事項の説明がなされた。

- (1) リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長宛別途書類を送付しているが、各クラブよりの援助金をキャビネットに取りまとめ、330-A地区として一括して送金する。
- (2) 送金先は行政関係ではなく、333複合の新潟地区に送るものとする。

- (3) 330複合地区ではA地区100万円、B地区100万円、及びC地区50万円の援助を決めており、A地区は「愛の泉基金」から立替払いを行う予定。
- (4) 各クラブ事務局に送金先口座の詳細
三菱東京UFJ銀行 志村支店 普通1537387
「ライオンズクラブ中越地震義援金口 会計 太田成正」
を明記して送付していますのでお問い合わせ下さい。

B. 330複合地区全般に関する事項

大内幹事より下記事項の説明がなされた。

1. 複合地区会則、その他諸手続き改正について

P18～P19により改正(案)の説明がなされた。

2. 330複合地区ガバナー協議会構成員、役員、委員について

資料集P20～P22参照のお願いと下記①、②の訂正

① ガバナー協議会議長 330-A地区(誤) → 330-B地区(正)

② 20Kコーディネーターはプロトコール上一番上に記述する旨の報告と、以下の説明がなされた。

330複合地区ガバナー協議会議長 : 330-B地区前地区ガバナー

ふるごおり やすろう
古郡 保郎ライオン

330複合地区ガバナー協議会副議長 : 330-B地区ガバナー

まきた けんいち
牧田 健一ライオン

330複合地区ガバナー協議会幹事 : 330-A地区ガバナー

いいだ よしひこ
飯田 善彦ライオン

330複合地区ガバナー協議会会計 : 330-C地区ガバナー

かねこ まさゆき
金子 正之ライオン

3. 第1回330複合地区ガバナー協議会全体会議について

議案集2007年8月24日(金)を下記のように変更する旨説明された。

開催日 2007年8月16日(木) 14時～16時

場 所 横浜ロイヤルパークホテル

4. 330複合地区第54回年次大会について

330-B地区がホストで、日時・場所等詳細は未定との報告がなされた。

C. 全日本レベル事項に関する事項（日本ライオンズ連絡事項）

大内幹事より下記事項の説明がなされた。

1. 全日本レベルでの人事について

ライオン誌日本語版委員会委員に 330-A地区元地区ガバナー

わたなべ としおき
渡辺 豊隆ライオン

ライオン誌日本語版事務所監査委員に 330-A地区元ガバナー

いけざき みちお
池崎 道男ライオン

CSF II ナショナル・コーディネーターに 330-A地区元ガバナー

やまうら せいき
山浦 晟暉ライオン

が、それぞれ就任されたことが報告された。

2. 八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議世話人について

ローテーションにより

世話人に 330複合地区ガバナー協議会議長 ふるごおり やすろう
古郡 保郎ライオン

副世話人に 336複合地区ガバナー協議会議長 か け くにお
加計 邦雄ライオン

が、それぞれ互選された旨報告がなされた。

3. 八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議について

資料集P23～P25を参照する旨説明がなされた。

4. CSF IIの進行について

大内幹事より、P26～P29に2007年7月1日より25日までの集計が、P30～P39に2006年度の集計が、P40に過去2年間のモデルクラブ一覧が、P41～P47に全国レベルでの献金等が、及びP48にモデルクラブ申請用紙が記載されている旨の説明がなされた。

引き続き、CSF II ナショナル・コーディネーター山浦ライオンより進行状況の説明があり、3年目のアンカーで目標達成のため地区メンバーのご協力を期待する旨のご挨拶がなされた。

5. 2007～2008年度V-1、V-2、CSF IIオリエンテーションの報告

2007年7月20日にティーサップ・リー元国際会長をお迎えして開かれた330・331・332・333複合地区CSF IIオリエンテーションにご参加の御礼と、当日配布の資料を改めて本日配布した旨の説明がなされた。

6. 第46回東洋東南アジア（OSEAL）フォーラムについて

テーマ：LIGHT、2007年10月12日～15日韓国・テグ（大邱）

にて開催される旨説明がなされた。

D. ライオン誌日本語版事務所に関する事項

大内幹事より全日本レベルでの人事以外現時点で報告すべき事項のないことが説明された。

E. 国際協会に関する事項

大内幹事より以下のとおり報告がなされた。

1. シカゴ国際大会の報告

資料集P 1～7に基づき

国際会長 Mahendra Jayanthipal Chandima Amarasuriya

(マヘンドラ ジャヤンティパル シャンディマ アマラスリヤ)

国籍：スリランカ

テーマ「変化への挑戦」に前向きに対応するよう世界のライオンズに強く訴えるとの説明、と代議員登録数については、資料集P 66のとおりである旨、大内幹事より報告がなされた。

2. 国際協会役員関係について

資料集P 67および議案集P 3参照するよう説明がなされた。

国際第一副会長：Lアルバート・F・ブランデル

国際第二副会長：Lエーバハルト・J・ヴィルフス

国際理事：L谷野 徹（336-D）、2期目

L後藤 隆一（333-C）、L重松 良次（335-B）1期目

3. 国際会則の改正について

国際会則の改正は資料集P 68～P 70を参照するよう説明がなされた。

4. 国際役員公式訪問等について

今期の予定は全て未定となっており、決定次第皆様にご連絡する旨報告がなされた。また、国際本部やキャビネットのホームページは随時更新しているので積極的に情報入手されるようお願い申し上げた。

以上で報告事項を終了し、大内幹事よりコーヒー&ケーキ・ブレイクの後、議事を再開する旨の案内がなされた。

IX. 議事

A. ガバナー方針

1. 基本方針について

大内幹事より飯田ガバナーの今年度基本方針の説明は済んでいる旨の説明があり、これより議事に入ることを宣言した。

2. リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン関係

リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンについて、資料 P 7 1 に記載のとおりと大内幹事より報告がなされた。

引き続き飯田ガバナーよりリジョン・チェアパーソン世話人の選任がなされ次の世話人が承認された。

1 R・リジョン・チェアパーソン L伊賀 則夫（東京葵LC）

7 R・リジョン・チェアパーソン L向 徹男（東京石泉LC）

8 R・リジョン・チェアパーソン L久賀 紳邇（東京セイシンLC）

10 R・リジョン・チェアパーソン L兼益 保夫（東京玉川LC）

次に飯田ガバナーよりゾーン・チェアパーソン世話人の選任がなされ次の世話人が承認された。

1 R・3 Zゾーン・チェアパーソン L小原 裕一（東京葵LC）

2 R・2 Zゾーン・チェアパーソン L妹尾 裕夫（東京尾張町LC）

6 R・2 Zゾーン・チェアパーソン L鈴木 智子（東京上野南LC）

10 R・2 Zゾーン・チェアパーソン L諸見里 清（東京世田谷LC）

13 R・2 Zゾーン・チェアパーソン L岸 伊佐雄（東京東久留米LC）

3. ガバナー諮問委員会について

(1) ガバナー諮問委員会開催日・運営その他について

キャビネット会議終了後7日以内に開催されることが望ましい。

本年度は臨時キャビネット会議を含めて年5回ガバナー諮問委員会を開催していただきたい。

この会議終了後ガバナー諮問委員会前に、必要があればゾーン・チェアパーソン会議を開催していただき、ゾーン・チェアパーソン会議終了後、ガバナー諮問委員会において各クラブ会長へ会議内容の伝達を適格にしていいただきたい、とのお願いがあった。

(2) ガバナー諮問委員会報告書について

「ゾーン・チェアパーソン必携」に添付されている「諮問委員会会議ゾーン・チェアパーソン報告書」を作成し、リジョン・チェアパーソンに写しを送付していただき、2回目以降の「報告書」は独自で作成のうえ報告してい

ただきたい、とのお願いがあった。

また、「ゾーン・チェアパーソン必携」はホームページよりダウンロードするよう国際本部から要請があったが、本日現在日本語版の作成が終わっていないので、本年度版が掲載され次第ゾーン・チェアパーソンの皆様にご連絡する旨補足説明がなされた。

4. ガバナー公式訪問について

(1) 質問書に対する回答書の提出について

各クラブからゾーン・チェアパーソンへの提出日 ⇒ : 8月14日まで
ゾーン・チェアパーソンからリジョン・チェアパーソンへの提出日

⇒ : 8月17日まで

リジョン・チェアパーソンからキャビネットへの提出日

⇒ : 8月20日まで

とさせて戴く旨のお願いがあった。

(2) 訪問日程について

資料集P11をご参照の上、ご確認戴きたい旨の説明がなされ、第9Rの場所が目黒雅叙園に変更の訂正がなされた。

次に、事前懇談会においてガバナーは各クラブのメンバーと広く懇談させて戴きたいため参加希望する一般会員も傍聴できるような設営をお願いした。

また、ゾーン・チェアパーソン各位に公式訪問準備についての関係書類をすでに送付しておりますが、公式訪問回答書を集計していただく概況表は本日配布しましたのでご利用下さるようお願いがあった。

5. プロトコールについて

資料集P72～73をご覧戴きたい旨の説明がなされた。

原則として国際協会の定めたプロトコールを尊重するが、は前年度定めた330-A地区ローカルプロトコールをも踏襲する旨追加説明がなされた。

6. 委員会関係について

(1) 世話人の選任について

飯田ガバナーより議案集P4のとおり発表がなされ承認された。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ・運営・協力委員長 | L小林 宗正 (東京自由が丘LC) |
| ・政策・会則・長期計画委員長 | L野崎 武 (東京青梅LC) |
| ・指導力育成委員長 | L吉澤 隆志 (東京早稲田LC) |
| ・会員増強委員長 | L曾根原良仁 (東京田無LC) |
| ・LCIF・CSFⅡ特別委員長 | L姉川 啓一 (東京新宿東LC) |

(2) 委員会担当正副幹事・会計名

大内幹事より資料集P74参照戴きたい旨、また、キャビネット幹事、キャビネット会計は必要に応じて随時出席する旨説明がなされた。

(3) 委員会開催について

召集のご案内はキャビネット担当副幹事に連絡をとり、会議室の確認を得た上でキャビネット事務局より送付して戴きたいとのお願いがあった。

B. ガバナー提出案件

1. 330-A地区キャビネット関係事項

(1) キャビネット副幹事、副会計のキャビネット構成員任命について

大内幹事より、例年構成員としていることの説明がなされ、飯田ガバナーがキャビネット構成員任命の採否を確認し、ご承認戴いた。

(2) キャビネット幹事・会計の職務執行につき、担保提供の必要性有無の件

大内幹事より、従来慣例に従い担保提供の必要はないと考えている旨の説明がなされ、飯田ガバナーが採否を確認し、ご承認戴いた。

(3) 2007～2008年度330-A地区各規定について

① 旅費規程について

② 慶弔規定について

③ ライオンズクラブメンバーご逝去の弔意について

④ キャビネット事務局就業規則、及び本年度の臨時的処理について

⑤ 給与規定について

⑥ キャビネット事務局記録等、保存規定について

キャビネット事務局にて随時閲覧戴くか、今後ホームページに掲載予定なので、必要に応じてご確認戴きたい旨大内幹事より説明がなされた。

(4) 330-A地区第54回年次大会ガバナーズ・アワードおよび表彰規定

政策・会則・長期計画委員会に諮問した旨飯田ガバナーより報告があった。

(5) 330-A地区「愛の泉緊急災害援助資金規則」について

緊急対策委員会に諮問した旨飯田ガバナーより報告があった。

(6) 2007～2008年度330-A地区キャビネット役員メイク・アップの件

(7) ガバナー、その他キャビネット役員が出席する各クラブ行事およびその場合の会費の取扱に関する統一見解について

大内幹事より、上記2項目は資料集P75に示した通りお願いをする旨説明がなされた。

(8) 2006～2007年度会計報告

前期の会計監査が終了後、会計報告書を引継ぎ、第2回キャビネット会議に報告書を提出して説明し、その際に承認を得る予定である旨大田会計より説明がなされ承認された。

(9) 2007～2008年度330-A地区予算について

太田会計より追加資料「予算案および提出案件（追加）」P1の2007～2008年度一般会計予算案は前年度繰越金の引継ぎを受けていないので、また会計処理調査費は不要と考えられるが前年と同様に計上した場合について説明がなされた。

飯田ガバナーが採否を確認し、ご承認戴いた。

(10) 経理規定について

飯田ガバナーより、ライオンズクラブは優秀な会計士・税理士等専門家が沢山いらっしゃるので外部監査は不要と思われるが、政策・会則・長期計画委員会に諮問する旨説明がなされた。

(11) ライオンズクラブ国際協会330-A地区と有限責任中間法人330-A地区支援会の人的・物的連携に関する規定

飯田ガバナーより中間法人連携委員会に諮問する旨説明がなされた。

(12) キャビネット会議議事録の発送範囲について

大内幹事より、飯田ガバナーの方針として、経費節減及び合理化のため以下のようにしたい旨説明がなされた。

① キャビネット会議議事録の発送範囲（ITで処理できるものはそれによる）

- ・ 国際本部
- ・ 330-A地区元国際理事、前・元ガバナー、キャビネット構成員、会計監査
- ・ 330-B地区・330-C地区キャビネット事務局
- ・ ライオン誌日本語版事務所、日本ライオンズ連絡事務所、国際協会日本事務所

② マンスリーレポート集計表等の発送範囲

- ・ 国際本部
- ・ 330-A地区元国際理事、前・元ガバナー
- ・ 330-B地区・330-C地区キャビネット事務局
- ・ ライオン誌日本語版事務所、日本ライオンズ連絡事務所、国際協会日本事務所

以上、飯田ガバナーが採否を確認し、ご承認された。

2. 家族会員、学生会員の地区費の徴収及びその額に関する件

飯田ガバナーより、年次大会決議事項であるので、議案とするかは考慮する旨説明がなされた。

3. 2006～2007年度YE役員任期延長に関する件

飯田ガバナーより、地区YE委員長は2007年9月まで任期延長することが説明され、ご承認戴いた。

4. YE・ライオンズクエスト協賛金1会員1,000円拠出のお願い

飯田ガバナーより、YEは300万円予算でキャビネットが指導し、国際プログラムであるライオンズクエストは次年度から最重要プログラムになりそうなので、この1年で勉強して行きたい。との説明がなされ、1会員1,000円の拠出をお願いし、ご承認戴いた。

5. 新潟県中越地震義援金として1クラブ5,000円以上の拠出のお願い

大内幹事より状況と必要性の説明があり、飯田ガバナーが補足説明した上で採決したところ、承認された。

6. CSF II募金活動及び献血について

大内幹事よりライオンズ・デー（10月8日）、及び世界障害者デー（12月9日）に行う旨お願いされた。

なお、募金箱等必要備品はキャビネットに申請いただければ用意する旨補足説明がなされた。

飯田ガバナーが採決したところ、承認された。

7. 330複合地区関係

8. 全日本レベル関係（日本ライオンズ連絡事務所）

9. ライオン誌日本語版事務所

大内幹事より7、8、9項に関しては特にありませんとの説明がなされた。

10. 国際協会関係

大内幹事より資料集P77～P79に基づき国際理事会新決議事項について説明がなされた。

特に、

- ① 副地区ガバナーの複数任意設置が可能であるが、国際協会には1人だけ登録される。
- ② 国際会費滞納クラブのチャーター取消しについて
- ③ 移行地区という呼び方の廃止

C. 前年度キャビネットよりの継続案件及び申し送り事項

1. 第53回330-A地区年次大会決議事項

- (1) 「ライオンズ総合事務所」に関する件
- (2) 2004～2005年度会計処理の調査報告の件

飯田ガバナーより、該当委員会に諮問する旨の説明がなされた。

なお、大内幹事は資料集P80のYE委員会の備考欄（誤）「9月帰国報告会終了後→決算の為」を（正）「サマーキャンプ未決算の為」とご訂正をお願いした。

D. 各位よりの提出案件

大内幹事より、別紙1、予算案および提出案件（追加）資料に各委員長よりの提出案件が掲載されている旨の説明があり、引き続き各委員長より案件説明がなされた。

- | | | |
|------------------------|--------------|--------|
| 1. 政策・会則・長期計画委員会 | : 委員長 | L野崎 武 |
| 2. 指導力育成委員会 | : 委員長 | L吉澤 隆志 |
| 3. PR情報委員会 | : 委員長 | L鶴ヶ谷正司 |
| 4. 大会参加委員会 | : 委員長 | L斉藤 嘉全 |
| 5. 環境保全委員会 | : 委員長 | L風間 昭 |
| 6. 中間法人連携委員会 | : 委員長 | L池田 和司 |
| 7. YE委員会 | : 委員長 | L島田 益吉 |
| 8. IT委員会 | : 委員長 | L藤村 貞夫 |
| 9. クエスト・青少年育成レオ委員会 | : 委員長 | L橘 薫 |
| 10. CSFⅡ達成のため「アイマスク例会」 | : 複合地区CSFⅡ委員 | L河崎 明彦 |

E. その他

大内幹事より、キャビネット夏季休暇については、事務局の休日はカレンダーどおりとし、各自交代で夏季休暇を3日間とることとさせて戴く旨説明がなされた。

X. 330-A地区第2回キャビネット会議について

大内幹事より、下記予定の説明がなされた。

日 時：2007年11月19日（月）

場 所：ホテルラングウッド（日暮里）

出席者：キャビネット構成員

XI. 閉会

太田会計より、長時間の議事進行にご協力戴いた感謝の挨拶がなされ閉会した。

（注）会議終了後マグノリアホールで懇親会が開催された。

以上をもって第1回キャビネット会議は閉会された。
会議の結果を明らかにするために、この議事録を作成し、議長および議事録署名人は署名捺印をする。

2007年 8 年 20 日

議長・ガバナー

L 飯田善彦 

第7R リジョン・チェアパーソン

L 向 敏 

第2R 第2Zゾーン・チェアパーソン

L 林 祐夫 